



新開小だより

～太陽のように ひまわりのように～



学校教育目標

かしこい子
心ゆたかな子
たくましい子

令和6年度4月号
児童数 399人



教育目標「かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子」
「どの子どもみんな一分の一」と「幸せづくり」

校長 八代 剛

校庭には桜の花が咲き乱れ、例年より遅い開花がまるで新開っ子の新学年への進級をお祝いするかのようです。本日より令和6年度がスタートしました。保護者の皆様、お子さんのご入学、そしてご進級おめでとうございます。

私は、この度、影山 葉子 前校長より引き継ぎ、着任しました八代 剛(やしろう ごう)と申します。お隣の東野小学校からまいりました。今年度、本校は48年目を迎え、2年後には50周年の記念すべき年を迎えます。これまで築き上げてきた良き伝統を継承し、さらに発展できるように教職員一丸となって尽力する覚悟でございます。

さて、今年度の新開小学校は、51名の新入学児を迎え、合計399名でのスタートとなりました。今年度も「どの子どもみんな一分の一」を教職員のスローガンとして掲げ、一人一人の子供たちを大切にしたい個別最適な学びの推進に取り組んでまいります。また、持続的な「幸せづくり」として、ウェルビーイング(※1)の理念の実現に向け、「太陽のように ひまわりのように」笑顔での対話による包括的な幸せづくりに努めます。子供たちはもとより、保護者・地域の皆様、学校を出入りする業者や来校者、そして我々教職員

※1 「ウェルビーイング」とは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念のこと。(文部科学省ホームページより)

も「この学校にきてよかった。また来たい。」と感じることにより、子供たちを取り巻く環境におけるウェルビーイングの深化が図られることと考えるからです。

私は子供たちと過ごす時間が好きです。子供たちと一緒に学び、遊び、笑い、時には一緒に涙を流しながら、その子供たちとともに成長したいと願い教師になりました。20年以上も前の話ですが、今でもその思いは変わりません。私は校長として、子供たちのできなかったことができるようになった時の笑顔や思いを大切に、その笑顔が少しでも多く作られるように、また、子供たちだけでなく、保護者・地域の皆様も、そして我々教職員にも笑顔があふれ、「どの子どもみんな一分の一」や「幸せづくり」が実現できるよう率先して挨拶やコミュニケーションに努めます。そして、一人一人の困難さや課題に寄り添いながら個に応じた支援・指導ができる教師集団、学校づくりに邁進します。

今年度も保護者、地域の皆様には御理解と御協力、御支援のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。

素晴らしい6年生。圧倒的、大活躍！

4月3日に準備登校として、新6年生の皆さんが登校し、机椅子の移動のお手伝いや入学式に向けての準備を行ってくれました。一



人一人気持ちよく挨拶ができ、皆さんと一緒に48年目の新開小学校を作っていくことが楽しみになりました！

